

2021年度 戦略施策マネジメントシート【2020年度実績評価】 作成：2021年 6月 18日

施策番号 1-1	施策名 産業活性化プロジェクト	基本的方向	まちの優位性・独自性を活かし経済・産業が活性化するまちをつくる			
		基本目標	安定した産業と雇用を創出し、誰もが活躍できる社会づくり			
	主管課	農林課	課長名	我妻 修一	内線	242
	施策関係課	商工労政課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
基幹産業である「農業」の担い手の確保や町内外への農業の理解促進、農畜産物の販路拡大とブランド確立、農業生産性の向上の取組、商工業の活性化や企業誘致・企業支援により、経済・産業活性化を進め、稼ぐまちを実現する		雇用の場・就業者・起業者		・安定した産業と雇用を創出する ・誰もが活躍できる社会づくりを進める			人口減少に歯止めがかかり、住み慣れた地域で、安心して住み続けられる	
重要業績評価指標(KPI)	説明	単位	策定時(基準値)	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2024年度(目標)	
① 農業生産額	農業生産額(農業再生協議会)	億円	270	297			314	
② 製造品出荷額等	経済センサス(工業統計調査)	億円	848	756			900	
③ 工業団地企業数	実績数	社	279	313			284	
評価指標設定の考え方	①農業産出額を本施策の成果指標とし、過去最高の数値と同程度を目指すもの。 ②段階的に900億円を目指すもの。 ③新工業団地造成等に伴う新規立地企業を想定するもの。							

2. 施策の事業費

	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	1,937,311		
人工数(業務量)	2,6230		

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価(策定時比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	・営農指導や、施設整備等農業経営基盤の安定化に向けた取り組みにより、農業生産額は堅調に推移 ・工業団地企業数は、既存団地内に新規立地及び新規事業立ち上げにより増加
②2024年度の目標値達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	・関係機関とした連携した営農指導等の取り組みの継続により、目標達成が期待できる。 ・現在の工業団地面積の約96%に企業が立地・活用しており、今後の新たな団地造成により目標達成が期待できる。
(2) 施策の成果評価に対する第2期芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	農業担い手育成支援事業 企業誘致促進対策事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・自主的活動支援事業補助金により、様々な研修・研究が行われるよう、担い手への支援を実施した。 ・農業後継者のスムーズな就農を支援するため、JAめむろと連携し「新農業経営育成システム」について見直しを図りながら継続実施した。 ・食農教育は、新型コロナウイルス感染症の影響で一部のみの実施となり、メインである課外授業ができなかったが、2021年度の実施に向けて、教育委員会、指導農業士会、農業振興センターと協議を重ねた。 ・企業誘致促進対策事業において、立地企業に対し優遇措置を図り企業の存続化を図っている。 ・雇用・労働関係相談対応事業において、企業の労働力確保と町内での就職支援のため開設した芽室町ハローワークを運営し、企業と求職者とのマッチングが進んだ。また、雇用促進住宅の供給を開始し、短期的利用を中心に企業雇用労働力確保に資した。 ・芽室東工業団地造成事業にあっては、土地利用の調整が難航し新団地造成ができず企業誘致活動に影響を及ぼした。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した
- C: (総合戦略策定時と比較して)前進した
- D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した
- E: (総合戦略策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の担い手確保、経営の安定化に向けた取り組みが必要であり、JAめむろなど、関係機関と連携した検討を進める。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の規模縮小や中止を余儀なくされるなど、産業全体に大きな影響があったが、アフターコロナを見据えた取り組みの検討が必要となっている。 ・芽室東工業団地は、多くの企業から取得ニーズがあり、新工業団地の造成は喫緊の課題となっている。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗対策など中心市街地の活性化 ・各産業における労働力確保対策 ・新たな工業団地の造成

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の受入れ体制構築の検討、農業への理解促進のための食農理解促進事業の実施。 ・アフターコロナを見据え、感染対策を講じた中で各種事業の実施を前提とした検討。 ・新工業団地の造成に向けた庁内連携、関係機関との協議の継続。

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標等により、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C: (総合戦略策定時と比較して)前進した D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (総合戦略策定時と比較して)後退した 					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価同様、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C: (総合戦略策定時と比較して)前進した D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (総合戦略策定時と比較して)後退した 					